

平成 28 年度(2016 年度)
年 次 報 告 書

一般社団法人日本臨床心理士会

東京都文京区本郷二丁目 27 番 8 号

目 次

I. 平成 28 年度 事業報告書

| | |
|--------------------------------------|----|
| はじめに..... | 1 |
| 1. 委員会活動報告..... | 2 |
| (1) 編集委員会..... | 2 |
| (2) 倫理委員会..... | 2 |
| (3) 医療保健領域委員会..... | 3 |
| (4) 産業・組織領域委員会..... | 4 |
| (5) 被害者支援委員会..... | 4 |
| (6) 教育領域委員会..... | 5 |
| (7) 私設心理相談領域委員会..... | 5 |
| (8) 福祉領域委員会..... | 6 |
| (9) 司法矯正領域委員会..... | 8 |
| (10) 支援事業委員会..... | 8 |
| 2. プロジェクトチーム活動報告..... | 9 |
| (1) 資格法制化プロジェクトチーム..... | 9 |
| (2) 横断的課題検討プロジェクトチーム..... | 9 |
| 3. 臨床心理講座・研修会開催状況..... | 12 |
| 4. 電話相談事業..... | 14 |
| 5. ひきこもりの家族支援事業..... | 15 |
| 6. 雑誌、ニューズレター、資格問題の諸情報・電子版速報の発行..... | 16 |
| 7. ホームページの利用状況..... | 18 |
| 8. 行政機関、他機関・団体への委員・役員等の選出状況..... | 20 |
| 9. 後援名義使用承認一覧表..... | 21 |
| 10. 代議員会・理事会・常任理事会に関する事項..... | 22 |
| (1) 代議員会開催状況..... | 22 |
| (2) 理事会開催状況..... | 22 |
| (3) 常任理事会開催状況..... | 23 |

II. 平成 28 年度決算報告書

| | |
|-----------------|----|
| 貸借対照表等決算書類..... | 24 |
| 役員名簿..... | 33 |
| 代議員名簿..... | 34 |

平成 28 年度 事業報告書

はじめに

平成 27 年には当会の念願であった心理職の国家資格創設が実現し、同年 9 月 16 日公認心理師法が公布された。公認心理師が実際に生まれるのは平成 30 年度であるが、多くの会員が経過措置により国家資格を取得することが想定され、当会としては理事会で決議した運営方針に基づき、この展開に対応する準備が必要である。このような中、第 3 期前期 2 年目となる平成 28 年度において、事業計画に基づき、以下の取り組みを行った。

○公認心理師法の施行に向けて

- ①経過措置等に関する要望を臨床心理職国家資格推進連絡協議会を通して提出した。
- ②会員の国家資格取得を支援するため、会員の意向調査を実施すべく準備を行った。

○心理職の国家資格化により加速する外部団体、行政の要請に対応していく。

- ①チーム学校の考え方にに基づき、スクールカウンセラーのあり方等をテーマとした研修会を開催した。
- ②チーム医療推進協議会、被災者健康支援連絡協議会、医療関連職種団体協議会、日本精神神経学会、日本発達障害ネットワーク、日本障害者協議会、全国精神保健福祉連合会等との連携に取り組んだ。
- ③文部科学省、厚生労働省をはじめ、内閣府、法務省、外務省、防衛省、警察庁、最高裁判所、和歌山県、名古屋市、明石市等との連携に取り組んだ。

○災害への備え

災害支援本部を設置し、横断的課題検討プロジェクトチーム災害対策構想班の検討に基づき、コアチームメンバーを委嘱するとともに、全国各都道府県臨床心理士会を 6 ブロックに編成し、支援活動の推進体制を整備した。

○委員会等組織体制の継続

第 3 期前期としての活動を行うとともに、第 3 期後期に向けて委員会等の組織を活動の実情に沿う形に改編することを理事会決定した。各委員会及びプロジェクトチームの事業報告は次頁以降のとおりである。

最後に事務局事業を報告する。

○事務局担当事業について以下に列挙する。

- ①臨床心理講座のウェブ申込みシステムは順調に稼動した。横断的課題検討プロジェクトチーム研修企画検討班の方針に基づき、定例研修会や臨床心理講座の事務を行った。
- ②支援事業委員会の方針に基づき、電話相談事業及びひきこもり支援事業を担当した。
- ③行政、自治体等からの諸要請に対し、各委員会等との連携のもとに、委員会や検討会等への派遣事務等を適宜対応した。
- ④岩手県大船渡市の緊急スクールカウンセラー等活用事業を受託するとともに、岩手県、釜石市、陸前高田市、福島県の各教育委員会からの要請を受け、スクールカウンセラー募集の広報に協力した。また、熊本地震に際しては事務局として災害支援本部事業に携わった。

○事務局体制の充実

- ①支援事業部を整備するとともに、各委員会等への事務局担当者を再配置した。
- ②広報体制の充実及び能率化に向けたホームページ機能の拡充は、次年度へ持ち越すこととなった。

【平成 28 年度 会員の動向】

| | | | |
|------------|---------|-----|------|
| 平成27年度末会員数 | 19,637名 | | |
| 平成28年度入会者 | 860名 | 退会者 | 271名 |
| 平成28年度末会員数 | 20,226名 | | |

1. 委員会活動報告

(1) 編集委員会

| メンバー | 氏名 | 平成28年度事業報告 |
|------|--------|---|
| 委員長 | 徳丸 享 | 1. 委員会を6回(5/22、7/19、9/25、11/27、1/22、3/25)開催した。 2. 雑誌81号を平成28年7月31日に刊行し、8月初旬に会員等に発送した。 3. 雑誌82号を平成29年1月31日に刊行し、2月初旬に会員等に発送した。 4. 本誌編集においては、執筆が「ド」を随時更新して表記の統一性を図る等をと おして、読みやすく、わかりやすい誌面構成をめざした。 5. 雑誌発刊以来、初めて読者アンケートを実施し、当雑誌に対する会員の評価、要 望を把握するとともに、結果を雑誌82号において報告した。 |
| 担当役員 | 平野 学 | |
| 委員 | 今井 たよか | |
| 委員 | 竹林 一恵 | |
| 委員 | 松浦 慶子 | |
| 協力委員 | 厚坊 浩史 | |
| | | |

(2) 倫理委員会

| メンバー | 氏名 | 平成28年度事業報告 |
|------|--------|---|
| 委員長 | 宇田川 一夫 | 1. 会員の倫理意識の向上のための啓発活動を行った。 (1) 「倫理が「ド」ライン」の内容に関し、都道府県臨床心理士会会員向けの研修 講師を「三重県」「佐賀県」「新潟県」「富山県」「山梨県」に派遣した。 (2) 全国の会員向けに倫理能力の向上と「倫理が「ド」ライン」の理解を深めるた め、都道府県臨床心理士会倫理担当者向けの倫理研修会を平成28年9月 18日に開催した。 2. 倫理をめぐる相談・苦情および倫理違反への対応を行った。 委員会を6回(5/29、7/10、9/17、11/27、1/8、3/20)開催した。 3. 内外組織と連携した。 (1) 「日本ロールシャッフ学会」「包括システムによる日本ロールシャッフ学会」「日本心理臨床 学会」と連携し「国際ロールシャッフ及び投映法学会」の支援もあり、「TEDtalk」 の図版の削除を求め、結果的に著者からその「巻」全体を削除する連絡 があった。 (2) 倫理問題で当会の他の委員会と連携した。 日本臨床心理士資格認定協会と連携をした。 4. 倫理規程の一部改正を行った。 |
| | | |

*委員名：外部非公表につき取扱い注意

(3) 医療保健領域委員会

| メンバー | 氏名 | 平成 28 年度事業報告 |
|------|--------|--|
| 委員長 | 花村 温子 | <p>1. 委員会を 6 回 (4/17、6/4、7/23、10/22、12/10、2/4) 開催した。</p> <p>2. 前期からの活動 (チーム医療関連、自殺対策、国家資格関連、診療報酬改定) を継続した。</p> <p>3. 定例研修会 I (10 月・東京) において第 23 回医療保健領域研修会を開催した。</p> <p>4. 第 7 回都道府県臨床心理士会医療保健領域担当者研修会を平成 28 年 12 月 11 日にホテル機山館にて開催した。</p> <p>5. 会員にとって有益な医療保健領域の情報を発信した。(当会雑誌 81 号・82 号、ホームページにて)。</p> <p>6. 「公認心理師法」施行に向けて、資格法制化 PT 等と協働し、情報共有に努めた。</p> <p>7. チーム医療関連での、他医療関連団体との有益な連携、協力体制強化により、情報収集した。</p> <p>8. 「第 3 回医療領域で働く臨床心理士対象のウェブアンケート」を実施し、結果を雑誌、当会ホームページにて掲載すべく準備した。</p> <p>9. 医療に限らない領域横断的な内容 (自死予防、ひきこもり対策、災害対策、アクション対策) には、委員を派遣し、情報共有、協働を行った。</p> <p>10. 今後心理職が国家資格となることを見据え、医療における心理職の領域別達成目標案を作成した。また、心理職が関連する法規や、心理職が診療報酬上関連する項目についてのピックアップを行い、まとめた。</p> <p>11. 臨床心理講座全 3 回 (2017 年 5 月 14 日、6 月 10 日、7 月 23 日) の開催を企画した。</p> |
| 担当役員 | 津川 律子 | |
| 副委員長 | 江口 昌克 | |
| 副委員長 | 福田 由利 | |
| 副委員長 | 藤城 有美子 | |
| 委員 | 河西 有奈 | |
| 委員 | 北吉 直子 | |
| 委員 | 小林 清香 | |
| 委員 | 小林 仁志 | |

(4) 産業・組織領域委員会

| メンバー | 氏名 | 平成28年度事業報告 |
|------|--------|---|
| 委員長 | 平野 学 | 1. 委員会を5回(5/14、8/21、10/2、1/9、3/4)開催した。 2. 定例研修会Ⅰ(10月・東京)において第12回研修会を開催し、更に定例研修会Ⅱ(2月・大阪)において第13回研修会を開催した。 3. 講師派遣を8県士会(北海道、山形、福島、兵庫、広島、山口、愛媛、佐賀)で行なった。 4. 当会雑誌(81号及び82号)やニューズレターに、研修会での知見や様々な情報を掲載した。 5. 担当者研修会を3月4日に開催した。 6. 臨床心理講座でシリーズ講座(全5回)等の開催を継続した。 7. 新規取得者のための研修会(7/18)に参加した。 8. この領域において、心理職が記載されている法律に関して調べた。 9. この領域における達成目標について、初級・中級・上級に分けて検討した。 10. ストレスチェック制度への関与として、定例研修会Ⅰ(東京)で、心理職として出来ること等まとめると共に、各県士会のストレスチェック制度への関与実態を予備的に把握する形で、今後への準備を図った。 11. 東京経営者協会での活動(相談室活動、メンヘルジョイントセミナーの開催、会報への執筆等)を継続しつつ、協会との様々な連携を図った。 12. 日本心理臨床学会の自主シンポジウム(9/4)「産業・組織心理臨床と病院心理臨床との対話」に協力した。 |
| 担当役員 | 野島 一彦 | |
| 副委員長 | 足立 智昭 | |
| 副委員長 | 新田 泰生 | |
| 副委員長 | 種市 康太郎 | |
| 委員 | 市川 佳居 | |
| 委員 | 島津 明人 | |
| 委員 | 松浦 真澄 | |
| 協力委員 | 藤里 智子 | |
| 協力委員 | 三宅 美樹 | |
| 協力委員 | 森口 修三 | |

(5) 被害者支援委員会

| メンバー | 氏名 | 平成28年度事業報告 |
|------|-------|--|
| 委員長 | 川畑 直人 | 1. 委員会を4回(5/22、9/10、10/22、2/12)開催した。 2. 定例研修会Ⅰ(10月・東京)において第18回被害者支援研修会を開催した。 3. 災害対策構想班と合同の会議を平成28年8月10日に開催した。 4. 熊本県臨床心理士会及び奈良県臨床心理士会に対して支援金を支給した。 |
| 担当役員 | 野島 一彦 | |
| 副委員長 | 中垣 真通 | |
| 委員 | 稲本 絵里 | |
| 委員 | 浦田 英範 | |
| 委員 | 米田 弘枝 | |
| 協力委員 | 池田 美樹 | |
| 協力委員 | 富永 良喜 | |

(6) 教育領域委員会

| メンバー | 氏名 | 平成28年度事業報告 |
|------|--------|---|
| 委員長 | 高田 晃 | <p>1. 学校臨床心理士ワーキンググループ活動に以下のとおり協力した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第21回学校臨床心理士全国研修会の開催 平成28年8月7日 於：金城学院大学（愛知県） ・ 第35回日本心理臨床学会委員会企画シンポジウムを開催（企画 村山正治） ・ SCの都道府県レベルの実態を再確認するための全国調査を実施し（12/25～1/15）、全国学校臨床心理士コーディネータ会議（3/27）で報告した。 <p>2. 委員会を3回（4/17、1/15、3/26）開催した。</p> <p>3. 定例研修会Ⅰ（10月・東京）において、福祉領域委員会との合同企画で研修会を開催した。テーマ：教育領域と福祉領域合同企画研修会として学校における発達障害支援を考える</p> <p>4. ウェブ調査報告書を作成し、雑誌81号で報告した。</p> <p>5. 文部科学省の不登校関連、チーム学校関連、教育相談関連のヒアリング等に協力した。</p> |
| 担当役員 | 村瀬 嘉代子 | |
| 副委員長 | 村山 正治 | |
| 委員 | 石川 悦子 | |
| 委員 | 窪田 由紀 | |
| 委員 | 倉光 修 | |
| 委員 | 高野 久美子 | |
| 協力委員 | 岩城 衆子 | |
| 協力委員 | 堀 英太郎 | |
| | | |

(7) 私設心理相談領域委員会

| メンバー | 氏名 | 平成28年度事業報告 |
|------|--------|---|
| 委員長 | 信田 さよ子 | <p>1. 委員会を4回（7/3、9/22、1/21、2/19）開催した。</p> <p>2. 定例研修会Ⅱ（2月・大阪）において、第11回私設心理相談領域研修会を開催した。</p> <p>3. 本領域における達成目標について、初級・中級・上級に分けて検討した。</p> |
| 担当役員 | 津川 律子 | |
| 委員 | 窪田 容子 | |
| 委員 | 田中 究 | |
| 委員 | 細野 正美 | |
| 委員 | 村上 雅彦 | |
| 協力委員 | 田中 ひな子 | |
| 協力委員 | 平野 学 | |

(8) 福祉領域委員会

委員長：高橋 幸市

担当役員：花村 温子

① 保育臨床専門部会

| メンバー | 氏名 | 平成 28 年度事業報告 |
|------|--------|--|
| 部会長 | 滝口 俊子 | 1. 保育心理臨床のレベルアップに向けて、定例研修会Ⅱ（2月・大阪）において第9回保育心理臨床研修会を開催した。 2. 保育心理臨床活動の発展へ向けて検討するために、委員会を2回（10/2、2/18）開催した。 |
| 委員 | 菅野 信夫 | |
| 委員 | 吉田 弘道 | |
| 協力委員 | 飯長 喜一郎 | |
| 協力委員 | 坂上 頼子 | |
| 協力委員 | 馬見塚 珠生 | |

② 障害支援専門部会

| メンバー | 氏名 | 平成 28 年度事業報告 |
|------|---------|---|
| 部会長 | 工藤 剛 | 1. 第9回障害の理解と支援に関する総合研修会を開催した。一部は他委員会と連携して実施した。定例研修会Ⅰ（10月・東京）、定例研修会Ⅱ（2月・大阪） 2. 日本発達障害ネットワーク(JDD net)の活動に協力した。 1) 府省等への要望活動、2) 第12回年次大会、3) 災害支援、4) 多職種連携委員会の活動、5) 財政的基盤強化への協力。 3. 日本障害者協議会（JD）政策委員会に出席した。 4. 文部科学省：第14回特別支援教育ネットワーク推進委員会に参加した。 5. 臨床心理講座の連続研修会を3回実施した。 6. 障害領域の研修の方向について検討した。 |
| 委員 | 工藤 宏子 | |
| 委員 | 黒澤 礼子 | |
| 協力委員 | 四ノ宮 美恵子 | |
| 協力委員 | 日戸 由刈 | |
| 協力委員 | 二口 繭子 | |

③ 子ども家庭支援専門部会

| メンバー | 氏名 | 平成 28 年度事業報告 |
|------|--------|--|
| 部会長 | 高橋 幸市 | <p>1. 定例研修会Ⅱ（2月・大阪）において第15回子ども家庭支援専門研修会研修会を開催した。テーマ：「地域における乳幼児と母親への心理支援の実際」</p> <p>2. 都道府県臨床心理士会担当者研修会を平成28年12月11日に当会会議室にて開催した。</p> <p>3. 臨床心理士子育て支援合同委員会に協力した。</p> <p>1) 平成28年度子育て支援講座（7/10 京都国際会館）</p> <p>2) 雑誌「子育て支援と心理臨床」編集作業</p> <p>3) 日本心理臨床学会横浜大会の委員会企画シンポジウム（9/4）に高橋部会長がシンポジストとして参加。</p> <p>4. 健やか親子21（第二期）に参加協力した。4分野への参加、テーマ：4グループ関連で、第34回日本小児心身医学会学術集會長崎大会（9/10）において、ミニシンポジウム「健やか親子21（第二次）の推進に向けて」に高橋部会長がシンポジストとして参加。総会（3/2）に高橋部会長、水谷支援事業部長が出席。</p> <p>5. 平成28年7月から8月にかけてウェブ上で「周産期から乳児期の母子に対する心理支援活動の実態調査」を実施し、報告書を作成。3月12日の理事会で確定済み。</p> |
| 委員 | 川畑 隆 | |
| 委員 | 田中 周子 | |
| 協力委員 | 大内 雅子 | |
| 協力委員 | 杉田 祐美子 | |
| 協力委員 | 田崎 美佐子 | |
| | | |

④ 社会的養護専門部会

| メンバー | 氏名 | 平成 28 年度事業報告 |
|------|--------|---|
| 部会長 | 増沢 高 | <p>1. 雑誌82号に児童虐待の現状や国の施策等を紹介する記事を投稿した。</p> <p>2. 定例研修会Ⅱ（2月・大阪）において、社会的養護専門研修会を開催した。</p> <p>3. 上記の活動のために、平成28年5月28日に部会を開催した。</p> |
| 委員 | 内海 新祐 | |
| 委員 | 中垣 真通 | |
| 委員 | 藤澤 陽子 | |
| 協力委員 | 杉山 史恵 | |
| 協力委員 | 南山 今日子 | |

⑤ 高齢者支援専門部会

| メンバー | 氏名 | 平成 28 年度事業報告 |
|------|--------|--|
| 部会長 | 松田 修 | <p>1. 計画どおり、定例研修会Ⅰ（10月・東京）と定例研修会Ⅱ（2月・大阪）にて、高齢者支援領域で活動する会員向けに、高齢者心理臨床の実践や研究に関する最新の知識や技能向上の獲得を目的とした研修会を開催した。</p> |
| 委員 | 小野寺 敦志 | |
| 委員 | 山中 克夫 | |
| 協力委員 | 宮本 典子 | |
| 協力委員 | 若松 直樹 | |

(9) 司法矯正領域委員会

| メンバー | 氏名 | 平成28年度事業報告 |
|------|--------|--|
| 委員長 | 片岡 玲子 | 1. 委員会を5回(4/17、9/10、10/23、11/12、1/29)開催した。 2. 定例研修会の実施結果等を『雑誌』に投稿し、委員会活動の広報に努めた。 3. 法務省専門職員採用試験、刑事施設における処遇カウンセラーの採用情報等の広報に協力した。 4. 定例研修会Ⅰ(10月・東京)において第7回司法矯正領域研修会を開催した。 5. 講師派遣の実施状況を考慮し、定例研修会Ⅱ(2月・大阪)での研修会の実施は見合わせた。 6. 講師派遣を5件実施した。 7. 様々な機会をとらえ、司法矯正領域の業務内容を広報した。 |
| 担当役員 | 川畑 直人 | |
| 副委員長 | 渡邊 悟 | |
| 委員 | 押切 久遠 | |
| 委員 | 菊池 安希子 | |
| 委員 | 町田 隆司 | |
| 委員 | 遊間 千秋 | |
| 委員 | 吉村 雅世 | |
| 協力委員 | 今村 洋子 | |

(10) 支援事業委員会

| メンバー | 氏名 | 平成28年度事業報告 |
|------|--------|--|
| 委員長 | 鶴 光代 | 1. 委員会を年6回(5/24、6/7、7/5、9/13、1/24、3/14)開催し、事務局支援事業部と協議しつつ、ひきこもり問題の市民向けセミナー・相談会を2回(4/16、10/2)実施した。第1回は広報に課題があったが、第2回は第1回から引き続きの参加者があり、定員を超えるニーズがあった。セミナー、相談会共に有意義であったとの反響が寄せられた。 2. 支援事業部が主催するひきこもり支援のネットワーク活動に協力し、首都圏数機関からの参加があり、臨床心理士のひきこもり支援の仕事がどのように行われているか、それぞれの報告と、今後の課題として支援にかかわる臨床心理活動に資するアセスメントのあり方を検討した。 3. 2.の活動から生じた問題意識に基づき、家族向けの支援冊子の作成に協力した。 4. 新たな支援事業を継続検討した。 |
| 担当役員 | 奥村 茉莉子 | |
| 委員 | 齋藤 ユリ | |
| 委員 | 水谷 孝之 | |
| 協力委員 | 井利 由利 | |
| | | |

2. プロジェクトチーム活動報告

(1) 資格法制化プロジェクトチーム

| メンバー | 氏名 | 平成28年度事業報告 |
|------|--------|--|
| 代表 | 野島 一彦 | 1. PT 会議を1回(5/15)開催し、公認心理師法の施行に向けた準備状況の分析と活動の検討を行なった。本 PT 会議の活動はこれをもって一旦終了し、公認心理師法に関わる諸活動については、常任理事会に引き継ぐこととなった。 2. 公認心理師をめぐる会員への情報提供は、希望する都道府県臨床心理士会への説明集会、雑誌、電子版速報、ニューズレター、ホームページでのお知らせ等を通じて行なった。 |
| 副代表 | 徳丸 享 | |
| 委員 | 今井 たよか | |
| 委員 | 奥村 茉莉子 | |
| 委員 | 片岡 玲子 | |
| 委員 | 高田 晃 | |
| 委員 | 津川 律子 | |
| 委員 | 平野 学 | |
| 協力委員 | 宇田川 一夫 | |
| 協力委員 | 佐藤 由佳利 | |
| 協力委員 | 高橋 幸市 | |

(2) 横断的課題検討プロジェクトチーム

| メンバー | 氏名 | 平成28年度事業報告 |
|------|---------|--|
| 代表 | 津川 律子 | 1. 全体会議を4回(5/15、7/18、10/9、2/5)開催した。 2. 平成28年7月18日(月・祝)に、第1回「臨床心理士」新規取得者のための基礎研修会を東京大学弥生講堂一条ホールにて開催した。 3. 「私設心理相談領域の実際状況の調査」を実施した。 4. 研修企画検討班がとりまとめた「領域別達成目標」について全体会でも検討した。 5. 平成29年2月5日(日)に、合理的配慮に関する勉強会を実施した。 |
| 担当役員 | 奥村 茉莉子 | |
| 委員 | 常任理事会 | |
| 協力委員 | 各委員会委員長 | |
| | | |

① 自死予防専門班

| メンバー | 氏名 | 平成28年度事業報告 |
|------|--------|--|
| 班長 | 津川 律子 | 1. 班会議を3回(6/5、10/22、1/28)開催した。 2. 文部科学省、関係団体などの関係会議に出席し、自死に関する内外の動向を把握し、共有した。 3. 改正自殺対策基本法に関して、会員へ当会雑誌等を通じて情報提供した。 4. 定例研修会 I (10月・東京)において、第3回自死予防専門研修会を開催した。 5. 平成29年1月28日(土)に、自死予防専門講座を開催した。 6. 自殺予防週間・自殺対策強化月間における当会の活動に関して検討し、実施した。 |
| 副班長 | 徳丸 享 | |
| 委員 | 勝又 陽太郎 | |
| 委員 | 窪田 由紀 | |
| 委員 | 水谷 孝之 | |
| 協力委員 | 高橋 幸市 | |
| 協力委員 | 花村 温子 | |
| 協力委員 | 三宅 美樹 | |

② 災害対策構想班

| メンバー | 氏名 | 平成28年度事業報告 |
|--------|--------|--|
| 班長 | 奥村 茉莉子 | 1. 班会議を6回(4/30、6/11、6/24、9/10、11/11、2/10)開催した。 2. 平成28年12月3・4日クロス・ウェブ府中において、全国各都道府県臨床心理士会会長、災害支援担当者を招集した研修会を開催し、理事を含め100名規模の参加があった。 3. 国際医療技術財団の主催する研修会にファシリテーターを派遣した。なお、全国各県士会に案内し、25名の参加があった。 4. 教育領域、医療保健領域委員会からの会議参加が継続的になされた。被害者支援委員会との連携も引き続き行った。 5. 出版物として「こころに寄り添う災害支援」(金剛出版)の編集を進めている。なお、災害対策ガイドラインの作成を検討中であり、次年度への課題となる。 6. 災害支援本部のもとに25名のコーチメンバーを委嘱した。 |
| 副班長 | 川畑 直人 | |
| 委員 | 池田 美樹 | |
| 委員 | 小澤 康司 | |
| 協力委員 | 今村 友木子 | |
| 協力委員 | 小俣 和義 | |
| 協力委員 | 中津 大介 | |
| 協力委員 | 宮崎 圭子 | |
| オブザーバー | 石川 悦子 | |
| オブザーバー | 小林 清香 | |

③ 研修企画検討班

| メンバー | 氏名 | 平成28年度事業報告 |
|------|--------|--|
| 班長 | 野島 一彦 | 1. 班会議を5回(6/1、8/3、10/1、12/5、1/30)開催した。 2. 過去の臨床心理講座を振り返り、職能団体としての講座として過不足を検討し、具体的な講座テーマを見いだした。 3. これまでのDVD化企画などを発展させ、どの地域の会員にも還元できるような配信方法を検討したが、本格的に配信を行うことはできなかった。 4. 平成28年1月～3月に実施したスーパビジョン仲介の試行について検討し、本格実施を行うことにした。 5. 広く当会における研修のあり方について検討した。定例研修会の企画について事前検討・調整を行った。公認心理師法の施行を視野に入れて「領域別達成目標」を作成した。 |
| 委員 | 奥村 茉莉子 | |
| 委員 | 川畑 直人 | |
| 委員 | 津川 律子 | |
| 委員 | 橋本 和明 | |
| 委員 | 村瀬 嘉代子 | |
| 協力委員 | 花村 温子 | |
| 協力委員 | 藤原 俊通 | |
| | | |

④ アディクション対策専門班

| メンバー | 氏名 | 平成 28 年度事業報告 |
|------|--------|--|
| 班 長 | 平野 学 | 1. 班会議を 3 回 (6/5、10/23、12/18) 開催した。 なお、横断PTの全体会議にも、班長・副班長が出席した。 2. 第 4 回の研修会を 10 月 23 日(日)、東京で開催した。 3. その際、参加者にアディクション関連での業務の実際を聞くアンケートを行ない、分析検討を行なった。結果等は雑誌 83 号でまとめる予定。 4. この領域において心理職が記載されている法律等を調べた。 5. この領域における達成目標について、初級・中級・上級に分けて検討した。 6. 雑誌 81 号及び 82 号において、学会情報や研修会報告等、寄稿した。 7. 「第 51 回日本アルコール・アディクション医学会学術総会」での臨床心理士向けワークショップ (10/8) や「インターネット依存国際ワークショップ」(11/20)等に班員が参加・協力した。 |
| 副班長 | 信田 さよ子 | |
| 委 員 | 石川 雅子 | |
| 委 員 | 河西 有奈 | |
| 委 員 | 三原 聡子 | |
| 協力委員 | 奥田 由子 | |
| 協力委員 | 中村 圭助 | |
| | | |

⑤ ひきこもり対策構想班

| メンバー | 氏名 | 平成 28 年度事業報告 |
|------|--------|--|
| 班 長 | 奥村 茉莉子 | 1. 班会議を 2 回 (4/16、10/2) 開催した。 2. 臨床心理講座を 3 回シリーズで企画、開催した。 3. ガイドラインとなる書籍を当会監修として編集し、出版に向け準備した。 4. 支援事業委員会主催の家族支援セミナー、相談会に参加、協力した。 |
| 副班長 | 高田 晃 | |
| 委 員 | 江口 昌克 | |
| 委 員 | 高橋 幸市 | |
| 協力委員 | 高塚 雄介 | |

3. 臨床心理講座・研修会開催状況

(1) 臨床心理講座開催状況

| 日 程 | | テーマ | 講 師 | 参加者 | |
|----------|-------|-------------|--------------------------------------|-------------|----|
| 4月24日 | (日) | 10:30~17:30 | 心理療法統合の実際-感情にはたらきかけるための治療原則と技法- | 岩壁 茂 | 31 |
| 4月30日 | (土) | 10:30~16:30 | ストレスマネジメント入門 | 坂上 頼子 | 46 |
| 5月1日 | (日) | 10:30~16:30 | 幼稚園・保育園における特別支援教育(ワークショップ形式) | 松村 裕美 | 44 |
| 5月22日 | (日) | 10:30~16:30 | 認知行動療法入門 | 中野 敬子 | 42 |
| 6月26日 | (日) | 10:30~16:30 | 産業心理臨床の実際-働く大人の発達障害を理解する- | 瀬戸山 聡子 | 41 |
| 7月10日 | (日) | 10:30~16:30 | 産業シリーズ講座1:産業・組織心理臨床の多様性 | 新田 泰生 | 45 |
| 7月23日 | (土) | 10:30~16:30 | 学童期の発達障害への理解と具体的な支援 | 黒澤 礼子 | 50 |
| 8月21日 | (日) | 10:30~16:30 | 組織で期待される臨床心理士を目指して-個人臨床と組織臨床を繋ぎつつ- | 新田・平野・松浦・森口 | 39 |
| 8月27日 | (土) | 10:30~16:30 | さまざまな素材による表現療法 | 齋藤 ユリ | 25 |
| 8月28日 | (日) | 10:30~16:30 | 産業シリーズ講座2:産業保健心理学と産業・組織心理臨床との関わり | 島津 明人 | 39 |
| 9月11日 | (日) | 10:30~16:30 | 産業シリーズ講座3:厚生労働行政と産業・組織心理臨床との関わり | 松井 知子 | 36 |
| 9月25日 | (日) | 10:30~16:30 | 日本版WISC-IV知能検査の活用-紹介編 | 大六 一志 | 86 |
| 10月8日 | (土) | 10:30~17:30 | 自律訓練法 | 笠井 仁 | 28 |
| 10月9日 | (日) | 10:30~16:30 | 子どもの認知行動療法<基礎> | 松丸 未来 | 45 |
| 10月30日 | (日) | 10:30~16:30 | 英語で学ぶ心理臨床 | 岩壁 茂 | 46 |
| 11月5日 | (土) | 10:30~16:30 | 乳幼児期・幼児期の発達障害への理解と具体的な支援 | 黒澤 礼子 | 44 |
| 11月6日 | (日) | 10:30~16:30 | 産業シリーズ講座4:産業・組織心理臨床における個人と組織へのアプローチ | 種市 康太郎 | 45 |
| 11月13日 | (日) | 10:30~16:30 | 精神分析・人間性心理学からの統合的認知行動療法 | 杉山 崇 | 42 |
| 11月20日 | (日) | 10:30~16:30 | ひきこもりシリーズ講座1:ひきこもりの家族支援入門 | 齋藤 暢一郎 | 42 |
| 11月27日 | (日) | 10:30~16:30 | 臨床心理士の電話相談-ひきこもり状態の方とその家族への支援として- | 井利 由利 | 10 |
| 12月3日 | (土) | 10:30~16:30 | アセスメントとしての描画と、絵を描くという体験 | 横山 恭子 | 43 |
| 12月4日 | (日) | 10:30~16:30 | 脳機能と神経心理学 | 深津 玲子 | 49 |
| 12月18日 | (日) | 10:30~16:30 | 産業心理臨床の実際-働く大人の発達障害を理解する- | 瀬戸山 聡子 | 50 |
| 12月23日 | (金・祝) | 10:30~16:30 | 小学校における特別支援教育(ワークショップ形式) | 松村 裕美 | 46 |
| 1月7日 | (土) | 10:30~16:30 | フォーカシングを体験的に学ぶ~流派を超えて臨床に活かすために~ | 日笠 摩子 | 45 |
| 1月8日 | (日) | 10:30~16:30 | 産業シリーズ講座5:EAPと産業・組織臨床との関わり | 市川 佳居 | 30 |
| 1月9日 | (月・祝) | 10:30~16:30 | 家族療法と個人療法の統合-統合的アプローチの実践- | 藤田 博康 | 42 |
| 1月14日 | (土) | 10:30~16:30 | 発達障害への支援について(実践編) | 黒澤 礼子 | 42 |
| 1月15日 | (日) | 10:30~16:30 | 高次脳機能障害の心理支援-アセスメントから支援へ- | 山口 加代子 | 45 |
| 1月21日 | (土) | 10:30~16:30 | ひきこもりシリーズ講座2:ひきこもりの家族支援入門② | 柳澤美由紀・水谷孝之 | 26 |
| 1月22日 | (日) | 10:30~16:30 | ストレスマネジメント(中級) | 坂上 頼子 | 44 |
| 1月28日 | (土) | 10:30~16:30 | 自死予防専門講座3 | 自死予防専門班委員 | 42 |
| 1月29日 | (日) | 10:30~16:30 | 弁証法的行動療法(DBT)入門 | 中野 敬子 | 44 |
| 2月4日 | (土) | 10:30~16:30 | カルト問題と心理臨床(9) | 平野 学 | 28 |
| 2月5日 | (日) | 10:30~16:30 | 日本版WISC-IV知能検査の活用-実践編 | 大六 一志 | 87 |
| 2月5日 | (日) | 10:30~16:30 | ひきこもりシリーズ講座3:ひきこもり支援の実際~家族グループと訪問支援~ | 徳丸 享 | 34 |
| 2月11日 | (土・祝) | 10:30~17:30 | 自律訓練法 | 笠井 仁 | 27 |
| 2月12日 | (日) | 10:30~16:30 | 発達障害と不登校・ひきこもり…事例をもとに、対応策、予防策を検討… | 黒澤 礼子 | 46 |
| 2月25-26日 | (土・日) | 10:30~16:30 | スクールカウンセリング入門コース(2日) | 杉原紗子・石川悦子他 | 48 |
| 3月5日 | (日) | 10:30~16:30 | 箱庭療法を学ぶ | 篠原 道夫 | 46 |
| 3月11日 | (土) | 10:30~16:30 | 犯罪心理鑑定講座 | 橋本 和明 | 45 |
| 3月18日 | (土) | 10:30~16:30 | 質的研究法入門 | 能智 正博 | 42 |
| 3月19日 | (日) | 10:30~16:30 | 思春期における特別支援教育(ワークショップ形式) | 松村 裕美 | 39 |
| 3月20日 | (月・祝) | 10:30~16:30 | メールカウンセリングの理論と実際 | 宮崎 圭子 | 33 |
| | | | 合計44講座 | 1849名 | |

(2) 研修会開催状況

①定例研修会等

| 研修会名：日程 | | 会 場 | 参加者 |
|-----------------------------------|-------------------------------|------------|-------|
| 定例研修会Ⅰ 28年10月22日(土) ～23日(日) | 第9回障害の理解と支援に関する総合研修会前期(1) | 東京ビッグサイト | 447 |
| | 第12回産業・組織心理臨床専門研修会 | | 261 |
| | 第12回高齢者支援研修会 | | 243 |
| | 第3回自死予防専門研修会 | | 122 |
| | 第9回障害の理解と支援に関する総合研修会前期(2) | | 261 |
| | 第23回医療保健領域研修会 | | 421 |
| | 第18回被害者支援研修会 | | 110 |
| | 第7回司法矯正領域研修会 | | 129 |
| | 第4回アディクション心理臨床研修会 | | 129 |
| 合 計 | | | 2,123 |
| 定例研修会Ⅱ 29年2月18日(土) ～19日(日) | 第9回障害の理解と支援に関する総合研修会後期(1) | 大阪科学技術センター | 324 |
| | 第13回産業・組織心理臨床専門研修会 | | 102 |
| | 第6回社会的養護専門研修会 | | 237 |
| | 第13回高齢者支援研修会 | | 140 |
| | 第9回障害の理解と支援に関する総合研修会後期(2) | | 305 |
| | 第15回子ども家庭支援専門研修会 | | 130 |
| | 第9回保育心理臨床研修会 | | 47 |
| | 第11回私設心理相談領域研修会 | | 95 |
| 合 計 | | | 1,380 |
| その他 | 第1回(H28)「臨床心理士」新規取得者のための基礎研修会 | 東京大学弥生講堂 | 307 |

②全国都道府県臨床心理士会担当者研修会等

| 研修会名 | 日 程 | 会 場 | 参加者 |
|-------------------|---------------|------------|-----|
| 倫理担当者研修会 | 平成28年9月18日 | 当会会議室 | 42 |
| 災害支援研修会 | 平成28年12月3日・4日 | クロス・ウェーブ府中 | 78 |
| 全国都道府県臨床心理士会会長懇談会 | 平成28年12月4日 | 〃 | 46 |
| 医療保健領域担当者研修会 | 平成28年12月11日 | ホテル機山館会議室 | 41 |
| 子ども家庭支援担当者研修会 | 平成28年12月11日 | 当会会議室 | 44 |
| 産業・組織領域担当者研修会 | 平成29年3月4日 | 当会会議室 | 42 |
| 合 計 | | | 293 |

4. 電話相談事業

(1) 定例電話相談

【実施日時】

午前（9：00～12：00）：月曜日・水曜日・金曜日

夜間（19：00～21：00）：月曜日～金曜日

【月別受電件数】

| | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---------|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | |
| 午前 | 121 | 120 | 98 | 106 | 128 | 113 | |
| 夜間 | 138 | 121 | 152 | 143 | 137 | 122 | |
| 計 | 259 | 241 | 250 | 249 | 265 | 235 | |
| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平成28年度計 |
| 午前 | 103 | 89 | 79 | 104 | 109 | 101 | 1,271 |
| 夜間 | 140 | 119 | 106 | 123 | 123 | 123 | 1,547 |
| 計 | 243 | 208 | 185 | 227 | 232 | 224 | 2,818 |
| | | | | | | 月平均 | 235 |

【参考】平成27年度 3,013件（月平均：251件）

(2) こころの健康電話相談

平成12年度より全国都道府県臨床心理士会に呼びかけ年1回一斉で実施し、平成15年度から平成25年度までは毎年1月に、平成26年度からは国の自殺対策強化月間に合わせ3月に実施していたが、平成28年度からは全国一斉での実施を取り止めた。

5. ひきこもりの家族支援事業

(1) 第1回ひきこもりの家族支援セミナー

開催日：平成28年4月16日（土）

会場：当会会議室・日本心理研修センター研修室（ユニゾ本郷二丁目ビル4F・2F）

次第：

13：00～14：00 講演会「ひきこもりを学ぶ 家族の学習会」

講師：井利由利 臨床心理士・精神保健福祉士

（公益社団法人青少年健康センター 茗荷谷クラブ）

14：00～15：00 グループでの話し合い（5グループ編成）

15：00～15：40 個別相談会①

15：45～16：25 個別相談会②

参加者：講演会：30名（28家族）、個別相談会：17名（16家族） 相談員：8名

(2) 第2回ひきこもりの家族支援セミナー

開催日：平成28年10月2日（日）

会場：当会会議室・日本心理研修センター研修室（ユニゾ本郷二丁目ビル4F・2F）

次第：

13：00～14：45 講演会「ひきこもりを学ぶ—家族としてできること—」

講師：井利由利 臨床心理士・精神保健福祉士

（公益社団法人青少年健康センター 茗荷谷クラブ）

15：00～15：40 個別相談会①

15：45～16：25 個別相談会②

参加者：講演会：52名（41家族）、個別相談会：23名（20家族） 相談員：11名

6. 雑誌、ニュースレター、資格問題の諸情報・電子版速報の発行

(1) 雑誌

| 号数 | 発行日 | 主要掲載記事 |
|-----|------------|--|
| 81号 | 平成28年7月31日 | <p>巻頭言「災害時の支援における臨床心理士会の役割」 役員会報告 第3期前期第6回理事会報告 特集1—続報・公認心理師法 講話「公認心理師法施行の準備状況について」 日本心理研修センター創立3周年記念行事 資格法制化問題の諸情報（第65報） 特集2—東日本大震災から5年が経過して～今後のために～ 釜石市における地域保健活動 日本障害フォーラム宮城が行った5年の活動と今後について 変化した災害医療の枠組み 福島からの避難者支援を経験して 横断的課題に対する取り組み（第6報） 第7回「臨床心理士の動向調査」結果の概要 自死予防をめぐる最近の動きと当会の取り組み 研修会の再検討 薬物問題をめぐる、変わりつつある状況 インターネット嗜癖の最新事情 三団体合同の活動 子育て支援合同委員会の活動から 諸領域の動向と委員会活動 都道府県臨床心理士会の活動から 長野県臨床心理士会/大分県臨床心理士会</p> |
| 82号 | 平成29年1月31日 | <p>巻頭言「連携・協働の時代に」 役員会報告 第3期第3回代議員会、全国臨床心理士会会長懇談会他 特集—女性と子どもの心理支援 子ども若者と女性に寄り添う支援 女性と子どもへの支援 公認心理師制度関連情報 公認心理師法施行準備状況 資格法制化問題の諸情報（第66報） 社会のニーズと心理臨床 子どもの貧困と居場所 横断的課題に対する取り組み（第7報） 第1回（H28）「臨床心理士」新規取得者のための基礎研修会 自死予防において臨床心理士ができること 災害時における心理支援システムの構築に向けて 領域別達成目標 当事者の語りと新たな援助技法論をめぐって 三団体合同の活動 スクールカウンセラー活動の評価と効果をめぐって 子どもたちの健やかな成長をめざして 諸領域の動向と委員会活動 都道府県臨床心理士会の活動から 大阪府臨床心理士会/埼玉県臨床心理士会</p> |

(2) ニュースレター

| No. | 発行日 | 主要掲載記事 |
|-------|------------------|---|
| No.15 | 平成 28 年 7 月 1 日 | <p>会長挨拶「熊本地震を受けて」 理事会・代議員会報告 第 3 期前期第 7 回理事会、第 3 期第 3 回（定時）代議員会 熊本震災関連 熊本県臨床心理士会の取組み 九州・沖縄地区県士会の動き 大分県臨床心理士会の取組み 日本臨床心理士会災害支援本部から 緊急スクールカウンセラー派遣研修会について 熊本心の緊急電話相談について トピックス～関連法制度の動き～ 北から南から：島根県臨床心理士会 揺れに強く柔軟で楽しい組織づくり 委員会・プロジェクトチームより 研修企画の検討について（研修企画検討班） ウェブ調査のお知らせとお願い（医療保健領域委員会） 研修情報 臨床心理講座のご案内、定例研修会開催予告他 日本臨床心理士会総合補償制度のご案内 事務局からのお知らせ</p> |
| No.16 | 平成 28 年 12 月 1 日 | <p>会長挨拶「公認心理師制度の施行に向けて」 熊本震災支援関連 熊本県臨床心理士会災害対策本部から 日本臨床心理士会災害支援本部から（経過報告） 公認心理師制度関連 公認心理師カリキュラム等検討会について 公認心理師の資格取得方法について 公認心理師制度の施行に向けて Q & A 委員会・プロジェクトチームより 新規取得者研修会について（横断的課題検討 P T） 領域別達成目標について（研修企画検討班） 災害支援ブロック構想について（災害対策構想班） いじめ問題に関するスクールカウンセラーの自覚（教育領域委員会） 全国都道府県臨床心理士会担当者研修会の開催状況について 北から南から：静岡県臨床心理士会 静岡県臨床心理士会の最近の動向 トピックス～関連法制度等の動き～ 研修情報 臨床心理講座のご案内、定例研修会Ⅱ（大阪）の開催予定他 事務局からのお知らせ</p> |

(3) 資格問題の諸情報・電子版速報

| No. | 発行日 | 主要掲載記事 |
|-----|------------------|--|
| 24 | 平成 28 年 5 月 31 日 | <p>「公認心理師法」の施行準備に寄せて、当会の動き、臨床心理士関係 4 団体関連の動き、他団体等の動き</p> |

7. ホームページの利用状況

(1) 会員個人専用ページ (MYページ) 利用状況

Web登録会員活用者 12,781名 (前年比1,324名増加)

(2) 『臨床心理士に会うには』都道府県別掲載件数

| 整理番号 | 都道府県 | 掲載件数 | 整理番号 | 都道府県 | 掲載件数 |
|------|------|------|------|------|------|
| 1 | 北海道 | 12 | 25 | 滋賀 | 2 |
| 2 | 青森 | 0 | 26 | 京都 | 25 |
| 3 | 岩手 | 3 | 27 | 大阪 | 51 |
| 4 | 宮城 | 3 | 28 | 兵庫 | 29 |
| 5 | 秋田 | 1 | 29 | 奈良 | 10 |
| 6 | 山形 | 1 | 30 | 和歌山 | 3 |
| 7 | 福島 | 5 | 31 | 鳥取 | 0 |
| 8 | 茨城 | 3 | 32 | 島根 | 3 |
| 9 | 栃木 | 5 | 33 | 岡山 | 6 |
| 10 | 群馬 | 3 | 34 | 広島 | 14 |
| 11 | 埼玉 | 28 | 35 | 山口 | 5 |
| 12 | 千葉 | 14 | 36 | 徳島 | 3 |
| 13 | 東京 | 138 | 37 | 香川 | 2 |
| 14 | 神奈川 | 42 | 38 | 愛媛 | 1 |
| 15 | 山梨 | 4 | 39 | 高知 | 1 |
| 16 | 長野 | 4 | 40 | 福岡 | 20 |
| 17 | 新潟 | 5 | 41 | 佐賀 | 1 |
| 18 | 富山 | 1 | 42 | 長崎 | 2 |
| 19 | 石川 | 3 | 43 | 熊本 | 4 |
| 20 | 福井 | 1 | 44 | 大分 | 3 |
| 21 | 岐阜 | 6 | 45 | 宮崎 | 0 |
| 22 | 静岡 | 15 | 46 | 鹿児島 | 2 |
| 23 | 愛知 | 24 | 47 | 沖縄 | 1 |
| 24 | 三重 | 2 | 48 | その他 | 3 |
| | | | | 掲載件数 | 514 |

(3) ホームページ求人情報活用状況

(平成28年4月～平成29年3月掲載)

| 領 域 | 機関の種類 | 機関数 |
|------------------|-----------------------|-----|
| 保健医療 | 病院・診療所 | 148 |
| | 精神保健福祉センター・保健所・保健センター | 2 |
| | 保健医療関係その他 | 1 |
| 福 社 | 児童福祉施設・機関（児童相談所を含む） | 35 |
| | 障害者福祉施設・機関 | 3 |
| | 女性福祉施設・機関 | 1 |
| | 福祉関係その他 | 7 |
| 教 育 | 公立教育相談機関・教育委員会 | 24 |
| | 幼稚園・小学校・中学校・高校・予備校 | 4 |
| | 各自治体から派遣SC | 2 |
| | 教育関係その他 | 0 |
| 大学 研究所 | 専門学校・短大・大学等（主に教育・研究） | 7 |
| | 専門学校・短大・大学等（主に相談業務） | 39 |
| | 研究所・研究機関 | 3 |
| 司法法務 警察 防衛 | 法務省（矯正保護）関係機関 | 1 |
| | 司法法務警察関係 | 1 |
| | 自衛隊 | 1 |
| 産業労働 | 独立の健康管理・相談所 | 23 |
| | 産業労働関係 | 4 |
| 私設心理相談 | 民間心理相談機関 | 6 |
| | 民間心理相談機関その他 | 0 |
| その他 | その他(被災地支援含む) | 5 |
| | 合 計 | 317 |

8. 行政機関、他団体・機関への委員・役員等の選出状況

1) 行政機関

| 府 省 | 組 織 | 役職等 |
|-------|--|------|
| 法 務 省 | 「社会を明るくする運動」中央推進委員会 | 委 員 |
| 文部科学省 | いじめ防止対策協議会 | 委 員 |
| | 不登校に関する調査研究協力者会議 | 委 員 |
| | 特別支援教育ネットワーク推進委員会 | 構成員 |
| 厚生労働省 | 健やか親子21（第2次）推進協議会 | 参加団体 |
| | 児童虐待防止対策協議会 | 構成団体 |
| | チーム医療推進方策検討ワーキング・グループ | 委 員 |
| | 【委託事業】「こころの耳」委員会 (受託者：社団法人産業カウンセラー協会) | 委 員 |
| 警 察 庁 | 児童の性的搾取等撲滅対策推進協議会 | 構成団体 |

2) 他団体・機関

| 団 体・機 関 | 役職等 |
|---------------------------------|-----------------|
| 一般社団法人日本発達障害ネットワーク（JDDnet） | 代議員 |
| | 理 事 |
| | 多職種連携委員会 委 員 |
| 特定非営利活動法人日本障害者協議会（JD） | 正会員 |
| | 政策委員会 委 員 |
| 公益社団法人全国精神保健福祉連合会（みんなネット） | 会 員 |
| チーム医療推進協議会（事務局：公益社団法人日本理学療法士協会） | 理 事 |
| | 代表者会議 |
| | 会長会 |
| 被災者健康支援連絡協議会（事務局：公益社団法人日本医師会） | 構成団体 |
| 医療関連職種団体協議会（公益財団法人国際医療技術財団） | 構成団体 |
| 公益財団法人日本精神神経学会 | 多職種協働委員会 委 員 |
| | 災害支援委員会 委 員 |

9. 後援名義使用承認一覧表

※受理順に記載

| No. | 主催団体等 | 日程・名称・テーマ |
|-----|------------------------------|---|
| 1 | 日本ロールシャッハ学会 | 28.11.26～11.27 日本ロールシャッハ学会第20回大会 |
| 2 | 日本精神障害者リハビリテーション学会 | 28.11.30～12.2 日本精神障害者リハビリテーション学会第24回長野大会 |
| 3 | 日本子ども虐待防止学会 | 28.11.24～11.26 日本子ども虐待防止学会第22回学術集會おおさか大会 |
| 4 | 日本外来総合病院精神医学会 | 28.8.20～8.21 第4回精神科リエゾンチーム講習会 |
| 5 | ACT 全国ネットワーク | 29.1.28～1.29 第8回ACT 全国研修関東大会 |
| 6 | 日本嗜癇行動学会京都大会実行委員会 | 28.10.22～10.23 第27回日本嗜癇行動学会京都大会 |
| 7 | 全国介護・終末期リハ・ケア研究会 | 28.9.25 第4回全国介護・終末期リハ・ケア研究会研究大会 |
| 8 | 認定特定非営利活動法人 全国被害者支援ネットワーク | 28.9.30 全国犯罪被害者支援フォーラム2016 |
| 9 | 一般社団法人 日本発達障害ネットワーク | 28.8.28 発達障害支援人材育成等研修事業共催 |
| 10 | 日本産業ストレス学会 | 28.11.25～26 第24回日本産業ストレス学会 |
| 11 | 一般社団法人 日本認知・行動療法学会 | 28.11.3 認知・行動療法セミナー |
| 12 | 公益社団法人 日本精神神経科診療所協会 | 28.9.25 第10回産業メンタルヘルス講演会 |
| 13 | 日本感覚統合学会研究大会 | 28.11.26～11.27 第34回日本感覚統合学会研究大会 |
| 14 | 一般社団法人 日本発達障害ネットワーク | 28.12.4 第12回年次大会、研修会共催 |
| 15 | 健康生きがい学会 | 28.11.12～11.13 健康生きがい学会第7回大会 |
| 16 | GID（性同一性障害）学会 | 29.3.18～3.19 GID（性同一性障害）学会第19回研究大会・総会 |
| 17 | 公益財団法人 日本精神衛生会 | 29.3.4 メンタルヘルスの集い（第31回日本精神保健会議） |
| 18 | 日本外来臨床精神医療学会 | 29.2.19 第17回日本外来臨床精神医学会学術大会 |
| 19 | 公益社団法人全国精神保健福祉会連合会 | 29.3.3 みんなねっとフォーラム2016 |
| 20 | 香川県臨床心理士会 | 29.2.19 自殺予防シンポジウム |
| 21 | 特定非営利活動法人日本がん・生殖医療研究会 | 29.1.29 若年性がん患者の妊孕性温存に関する心理支援セミナー |
| 22 | 公益社団法人日本理学療法士協会 | 29.5.12～5.14 第52回日本理学療法学術大会 |
| 23 | 日本周産期精神保健研究会 | 30.1.27～1.28 第3回日本周産期精神保健研究会 |
| 24 | 日本子ども虐待防止学会 | 29.12.2～12.3 日本子ども虐待防止学会第23回学術集會ちば大会 |
| 25 | 日本描画テスト・描画療法学会 | 29.9.2～9.3 日本描画テスト・描画療法学会第27回大会 |
| 26 | 一般社団法人 日本心理臨床学会 | 29.6.11 第3回被災者支援研修会 |

10. 代議員会・理事会・常任理事会に関する事項

(1) 代議員会 (全1回)

第3回 (定時) 代議員会

1. 日 時：平成 28 年 6 月 26 日 (日) 午後 1 時 30 分～4 時 00 分
2. 場 所：ステーションコンファレンス万世橋・404 号室
3. 議 案：

第 1 号議案 平成 27 年度事業報告並びに同決算報告 (案) 承認の件
事業報告書と決算報告書について説明がなされ、その後監査報告が行われ承認された。

審議事項は以上で、平成 28 年度事業計画ならびに同収支予算の報告がなされた後、熊本地震に関わる学校支援スクールカウンセラー緊急派遣等の報告が行われた。

(2) 理事会 (全3回)

第3期前期第7回理事会

1. 日 時：平成 28 年 5 月 15 日 (日) 午後 1 時 30 分～3 時 45 分
2. 場 所：日本臨床心理士会会議室 (ユニゾ本郷二丁目ビル 4F)
3. 議 案：
第 1 号議案 平成 27 年度事業報告の件
第 2 号議案 平成 27 年度決算報告の件
第 3 号議案 第 3 期第 3 回 (定時) 代議員会の議長選任の件

第3期前期第8回理事会

1. 日 時：平成 28 年 12 月 4 日 (日) 午後 4 時 00 分～5 時 15 分
2. 場 所：クロス・ウェーブ府中・323 号室
3. 議 案：
第 1 号議案 倫理委員会案件の処遇案承認の件
第 2 号議案 ユニゾ本郷二丁目ビル (旧太陽館ビル) 202 号室賃借の件
第 3 号議案 第 3 期後期理事候補者選出選挙の選挙管理委員選任の件

第3期前期第9回理事会

1. 日 時：平成 29 年 3 月 12 日 (日) 午後 1 時 30 分～4 時 40 分
2. 場 所：日本臨床心理士会会議室 (ユニゾ本郷二丁目ビル 4F)
3. 議 案：
第 1 号議案 平成 29 年度事業計画 (案) の件
第 2 号議案 平成 29 年度収支予算 (案) の件
第 3 号議案 第 3 期後期の委員会・プロジェクトチームの組織編成の件
第 4 号議案 倫理規程の一部改正の件
第 5 号議案 事務局職員の人事異動の件

(3) 常任理事会 (全8回)

第3期前期第11回常任理事会：平成28年4月30日(土)午後5時00分～8時10分

第3期前期第12回常任理事会：平成28年6月26日(日)午前11時00分～午後1時00分

第3期前期第13回常任理事会：平成28年8月17日(水)午後7時00分～9時20分

第3期前期第14回常任理事会：平成28年10月9日(日)午後7時00分～9時10分

第3期前期第15回常任理事会：平成28年11月29日(火)午後7時00分～9時10分

第3期前期第16回常任理事会：平成28年12月18日(日)午後5時30分～8時00分

第3期前期第17回常任理事会：平成29年2月7日(火)午後7時00分～9時30分

第3期前期第18回常任理事会：平成29年3月3日(金)午後6時30分～9時20分

※場所は第12回(ステーションコンファレンス万世橋会議室)を除き、当会会議室(ユニゾ本郷二丁目ビル4F)

平成 28 年度（2016 年度）決算報告書

貸 借 対 照 表

正味財産増減計算書

財 産 目 録

収 支 計 算 書

貸借対照表

平成29年03月31日現在

(単位:円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|-------------------|--------------|--------------|--------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| (1) 現金預金 | | | |
| 現金 | 299,187 | 90,431 | 208,756 |
| 普通預金 | 48,943,081 | 46,487,798 | 2,455,283 |
| 定期預金 | 52,000,000 | 32,000,000 | 20,000,000 |
| 郵便振替貯金 | 12,494,783 | 18,093,631 | △ 5,598,848 |
| 現金預金合計 | 113,737,051 | 96,671,860 | 17,065,191 |
| 流動資産合計 | 113,737,051 | 96,671,860 | 17,065,191 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 特定資産 | | | |
| 選挙関係引当金積立資産 | 7,000,000 | 3,500,000 | 3,500,000 |
| 建物付属施設準備資産 | 50,000,000 | 50,000,000 | 0 |
| 特別災害時支援引当資産 | 13,000,000 | 4,000,000 | 9,000,000 |
| 特定資産合計 | 70,000,000 | 57,500,000 | 12,500,000 |
| (2) その他固定資産 | | | |
| 建物付属設備 | 5,250,000 | 5,250,000 | 0 |
| 建物減価償却累計額 | △ 1,055,250 | △ 703,500 | △ 351,750 |
| 器具備品 | 11,990,685 | 11,416,433 | 574,252 |
| 器具備品減価償却累計額 | △ 7,907,868 | △ 8,720,598 | 812,730 |
| 敷金 | 8,982,400 | 6,384,000 | 2,598,400 |
| その他固定資産合計 | 17,259,967 | 13,626,335 | 3,633,632 |
| 固定資産合計 | 87,259,967 | 71,126,335 | 16,133,632 |
| 資産合計 | 200,997,018 | 167,798,195 | 33,198,823 |
| II 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 預り金 | 756,380 | 496,526 | 259,854 |
| 流動負債合計 | 756,380 | 496,526 | 259,854 |
| 負債合計 | 756,380 | 496,526 | 259,854 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 1. 指定正味財産 | | | |
| 指定正味財産合計 | 0 | 0 | 0 |
| 2. 一般正味財産 | 200,240,638 | 167,301,669 | 32,938,969 |
| (うち特定資産への充当額) | (70,000,000) | (57,500,000) | (12,500,000) |
| 正味財産合計 | 200,240,638 | 167,301,669 | 32,938,969 |
| 負債及び正味財産合計 | 200,997,018 | 167,798,195 | 33,198,823 |

正味財産増減計算書

平成28年04月01日から平成29年03月31日まで

(単位:円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|----------------|-------------|-------------|--------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 受取会費 | | | |
| 受取会費 | 167,057,000 | 160,053,000 | 7,004,000 |
| 受取会費計 | 167,057,000 | 160,053,000 | 7,004,000 |
| 研修会事業収益 | | | |
| 研修会事業収益 | 18,901,000 | 19,069,000 | △ 168,000 |
| 研修会事業収益計 | 18,901,000 | 19,069,000 | △ 168,000 |
| 臨床心理講座事業収益 | | | |
| 臨床心理講座収益 | 12,299,000 | 13,064,000 | △ 765,000 |
| 臨床心理講座事業収益計 | 12,299,000 | 13,064,000 | △ 765,000 |
| 検索システム収益 | | | |
| 検索システム収益 | 1,680,000 | 1,683,000 | △ 3,000 |
| 検索システム収益計 | 1,680,000 | 1,683,000 | △ 3,000 |
| 受取寄付金 | | | |
| 受取寄付金 | 737,480 | 883,174 | △ 145,694 |
| 受取寄付金計 | 737,480 | 883,174 | △ 145,694 |
| 雑収益 | | | |
| 雑収益 | 3,367,330 | 3,072,450 | 294,880 |
| 雑収益計 | 3,367,330 | 3,072,450 | 294,880 |
| 他会計繰入金 | | | |
| 他会計からの繰入金 | 11,121,771 | 0 | 11,121,771 |
| 他会計繰入金計 | 11,121,771 | 0 | 11,121,771 |
| 経常収益計 | 215,163,581 | 197,824,624 | 17,338,957 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | | | |
| 刊行費 | 17,683,690 | 26,992,927 | △ 9,309,237 |
| 委員会活動費 | 12,017,742 | 10,748,294 | 1,269,448 |
| 会議費 | 2,620,274 | 2,914,524 | △ 294,250 |
| 広報・渉外費 | 4,178,731 | 36,724,462 | △ 32,545,731 |
| システム管理費 | 2,157,698 | 1,594,368 | 563,330 |
| 研修会運営費 | 18,326,957 | 18,933,490 | △ 606,533 |
| 電話相談事業 | 6,440,698 | 7,751,088 | △ 1,310,390 |
| 臨床心理講座運営費 | 6,662,429 | 7,505,083 | △ 842,654 |
| 震災心理支援センター費 | 662,528 | 1,757,413 | △ 1,094,885 |
| 災害支援費 | 1,754,671 | 0 | 1,754,671 |
| 臨床心理士賠償責任保険関係費 | 22,285,220 | 23,506,626 | △ 1,221,406 |
| 事業費計 | 94,790,638 | 138,428,275 | △ 43,637,637 |
| 管理費 | | | |
| 常任理事会 | 1,021,433 | 990,948 | 30,485 |
| 理事会 | 1,896,021 | 2,801,543 | △ 905,522 |
| 代議員会 | 2,109,033 | 5,372,254 | △ 3,263,221 |
| 団体会員会 | 3,164,781 | 3,896,267 | △ 731,486 |
| 事務局会議 | 95,064 | 45,617 | 49,447 |
| 運営負担金 | 81,000 | 0 | 81,000 |
| 事務委託費 | 108,270 | 540,270 | △ 432,000 |

正味財産増減計算書

平成28年04月01日から 平成29年03月31日まで

(単位:円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|-----------------|-------------|--------------|--------------|
| 施設費 | 13,003,525 | 12,637,706 | 365,819 |
| 人件費 | 45,393,888 | 36,403,264 | 8,990,624 |
| 通信費 | 4,016,670 | 3,541,906 | 474,764 |
| 印刷費 | 2,913,801 | 2,463,939 | 449,862 |
| 消耗品費 | 63,228 | 86,919 | △ 23,691 |
| 備品費 | 492,331 | 21,835 | 470,496 |
| 図書費 | 31,968 | 1,398 | 30,570 |
| 購読料 | 49,261 | 35,816 | 13,445 |
| 雑費 | 57,765 | 146,017 | △ 88,252 |
| 選挙関係費支出 | 0 | 21,035,580 | △ 21,035,580 |
| 租税公課 | △ 43,600 | 1,781,100 | △ 1,824,700 |
| 建物設備減価償却費 | 351,750 | 351,750 | 0 |
| 器具備品減価償却費 | 1,506,014 | 1,378,700 | 127,314 |
| 管理費計 | 76,312,203 | 93,532,829 | △ 17,220,626 |
| 他会計繰出金 | | | |
| 他会計への繰出金 | 11,121,771 | 0 | 11,121,771 |
| 他会計繰出金計 | 11,121,771 | 0 | 11,121,771 |
| 経常費用計 | 182,224,612 | 231,961,104 | △ 49,736,492 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | 32,938,969 | △ 34,136,480 | 67,075,449 |
| 評価損益等計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常増減額 | 32,938,969 | △ 34,136,480 | 67,075,449 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 税引前当期一般正味財産増減額 | 32,938,969 | △ 34,136,480 | 67,075,449 |
| 当期一般正味財産増減額 | 32,938,969 | △ 34,136,480 | 67,075,449 |
| 一般正味財産期首残高 | 167,301,669 | 201,438,149 | △ 34,136,480 |
| 一般正味財産期末残高 | 200,240,638 | 167,301,669 | 32,938,969 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期末残高 | 0 | 0 | 0 |
| III 正味財産期末残高 | 200,240,638 | 167,301,669 | 32,938,969 |

財 産 目 録

平成29年03月31日現在

(単位:円)

| 貸借対照表科目 | | 場所・使用目的等 | 金額 |
|---------------|-------------|-----------|-------------|
| (流動資産) | | | |
| 現金預金 | 現金 | | 299,187 |
| | 普通預金 | | 48,943,081 |
| | みずほ銀行 本郷支店 | | 10,464,234 |
| | ジャパンネット銀行 | | 38,478,847 |
| | 定期預金 | | 52,000,000 |
| | 郵便振替貯金 | | 12,494,783 |
| | 東京貯金事務センター | | 8,469,062 |
| | 通常貯金 | | 4,025,721 |
| 現金預金合計 | | | 113,737,051 |
| 流動資産合計 | | | 113,737,051 |
| (固定資産) | | | |
| 特定資産 | 選挙関係引当金積立資産 | ゆうちょ銀行 | 7,000,000 |
| | 建物附属施設準備資産 | ジャパンネット銀行 | 50,000,000 |
| | 特別災害時支援引当資産 | みずほ銀行 | 13,000,000 |
| 特定資産合計 | | | 70,000,000 |
| その他固定資産 | 建物附属設備 | | 5,250,000 |
| | 建物減価償却累計額 | | △ 1,055,250 |
| | 器具備品 | | 11,990,685 |
| | 器具備品減価償却累計額 | | △ 7,907,868 |
| | 敷金 | | 8,982,400 |
| その他固定資産合計 | | | 17,259,967 |
| 固定資産合計 | | | 87,259,967 |
| 資産合計 | | | 200,997,018 |
| (流動負債) | | | |
| 預り金 | 税預り金・所得税 | | 337,602 |
| | 税預り金・謝礼分 | | 189,139 |
| | 税預り金・地方税 | | 141,900 |
| | 健康保険料 | | 34,102 |
| | 厚生年金保険料 | | 53,637 |
| | 流動負債合計 | | 756,380 |
| 負債合計 | | | 756,380 |
| 正味財産 | | | 200,240,638 |

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

この財務諸表は、当年度から「公益法人会計基準」(平成16年10月14日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ)に準拠し作成している。

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物、器具備品は定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

税込み方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

| 科目 | 前期末残高 | 当期増加高 | 当期減少高 | 当期末残高 |
|-------------|------------|------------|-----------|------------|
| 選挙関係引当資産 | 3,500,000 | 3,500,000 | 0 | 7,000,000 |
| 建物付属施設準備資産 | 50,000,000 | 0 | 0 | 50,000,000 |
| 特別災害時支援引当資産 | 4,000,000 | 13,000,000 | 4,000,000 | 13,000,000 |
| 合 計 | 57,500,000 | 16,500,000 | 4,000,000 | 70,000,000 |

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

| 科目 | 当期末残高 | (うち指定正味財産からの 充当額) | (うち一般正味財産からの 充当額) | (うち負債からの充当額) |
|-------------|------------|----------------------|----------------------|--------------|
| 選挙関係引当資産 | 7,000,000 | | (7,000,000) | |
| 建物付属施設準備資産 | 50,000,000 | | (50,000,000) | |
| 特別災害時支援引当資産 | 13,000,000 | | (13,000,000) | |
| 合 計 | 70,000,000 | | (70,000,000) | |

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載しているため省略する。

2. 引当金明細

該当なし

収支計算書

平成28年04月01日から平成29年03月31日まで

(単位:円)

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 差違 | 備考 |
|------------------|-------------|-------------|--------------|----|
| I 事業活動収支の部 | | | | |
| 1. 事業活動収入 | | | | |
| (1) 会費収入 | | | | |
| 会費収入 | 150,000,000 | 167,057,000 | △ 17,057,000 | |
| 会費収入計 | 150,000,000 | 167,057,000 | △ 17,057,000 | |
| (2) 研修会事業収入 | | | | |
| 研修会事業収入 | 20,000,000 | 18,901,000 | 1,099,000 | |
| 研修会事業収入計 | 20,000,000 | 18,901,000 | 1,099,000 | |
| (3) 臨床心理講座事業収入 | | | | |
| 臨床心理講座収入 | 10,000,000 | 12,299,000 | △ 2,299,000 | |
| 臨床心理講座事業収入計 | 10,000,000 | 12,299,000 | △ 2,299,000 | |
| (4) 検索システム収入 | | | | |
| 検索システム収入 | 1,500,000 | 1,680,000 | △ 180,000 | |
| 検索システム収入計 | 1,500,000 | 1,680,000 | △ 180,000 | |
| (5) 寄付金収入 | | | | |
| 寄付金収入 | 800,000 | 737,480 | 62,520 | |
| 寄付金収入計 | 800,000 | 737,480 | 62,520 | |
| (6) 雑収入 | | | | |
| 雑収入 | 3,000,000 | 3,367,330 | △ 367,330 | |
| 雑収入計 | 3,000,000 | 3,367,330 | △ 367,330 | |
| (7) 他会計からの繰入金収入 | | | | |
| 他会計からの繰入金収入 | 0 | 11,121,771 | △ 11,121,771 | |
| 他会計からの繰入金収入計 | 0 | 11,121,771 | △ 11,121,771 | |
| 事業活動収入計 | 185,300,000 | 215,163,581 | △ 29,863,581 | |
| 2. 事業活動支出 | | | | |
| (1) 事業費支出 | | | | |
| 刊行費支出 | 20,700,000 | 17,683,690 | 3,016,310 | |
| 委員会活動費支出 | 17,301,200 | 12,017,742 | 5,283,458 | |
| 会議費支出 | 3,000,000 | 2,620,274 | 379,726 | |
| 広報・渉外費支出 | 4,000,000 | 4,178,731 | △ 178,731 | |
| システム管理費支出 | 2,000,000 | 2,157,698 | △ 157,698 | |
| 研修会運営費支出 | 19,700,000 | 18,326,957 | 1,373,043 | |
| 電話相談事業費支出 | 6,500,000 | 6,440,698 | 59,302 | |
| 臨床心理講座費支出 | 6,400,000 | 6,662,429 | △ 262,429 | |
| 震災心理支援センター費支出 | 800,000 | 662,528 | 137,472 | |
| 災害支援費支出 | 0 | 1,754,671 | △ 1,754,671 | |
| 臨床心理士賠償責任保険関係費支出 | 22,000,000 | 22,285,220 | △ 285,220 | |
| 事業費支出計 | 102,401,200 | 94,790,638 | 7,610,562 | |
| (2) 管理費支出 | | | | |
| 会議費支出 | | | | |
| 常任理事会支出 | 1,000,000 | 1,021,433 | △ 21,433 | |
| 理事会支出 | 3,000,000 | 1,896,021 | 1,103,979 | |
| 代議員会支出 | 2,500,000 | 2,109,033 | 390,967 | |
| 団体会員会支出 | 4,000,000 | 3,164,781 | 835,219 | |
| 事務局会議支出 | 100,000 | 95,064 | 4,936 | |
| 会議費支出計 | 10,600,000 | 8,286,332 | 2,313,668 | |
| 事務費支出 | | | | |
| 運営負担金支出 | 100,000 | 81,000 | 19,000 | |
| 事務委託費支出 | 600,000 | 108,270 | 491,730 | |
| 施設費支出 | 13,100,000 | 13,003,525 | 96,475 | |

収支計算書

平成28年04月01日から平成29年03月31日まで

(単位:円)

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 差違 | 備考 |
|----------------|-------------|--------------|--------------|----|
| 人件費支出 | 42,000,000 | 45,393,888 | △ 3,393,888 | |
| 通信費支出 | 4,000,000 | 4,016,670 | △ 16,670 | |
| 印刷費支出 | 2,500,000 | 2,913,801 | △ 413,801 | |
| 消耗品費支出 | 150,000 | 63,228 | 86,772 | |
| 備品費支出 | 100,000 | 492,331 | △ 392,331 | |
| 図書費支出 | 30,000 | 31,968 | △ 1,968 | |
| 購読料支出 | 50,000 | 49,261 | 739 | |
| 雑支出 | 200,000 | 57,765 | 142,235 | |
| 事務費支出計 | 62,830,000 | 66,211,707 | △ 3,381,707 | |
| 租税公課支出 | | | | |
| 租税公課支出 | 2,000,000 | △ 43,600 | 2,043,600 | |
| 租税公課支出計 | 2,000,000 | △ 43,600 | 2,043,600 | |
| 管理費支出計 | 75,430,000 | 74,454,439 | 975,561 | |
| (3) 他会計への繰入金支出 | | | | |
| 他会計への繰入金支出 | 0 | 11,121,771 | △ 11,121,771 | |
| 他会計への繰入金支出計 | 0 | 11,121,771 | △ 11,121,771 | |
| 事業活動支出計 | 177,831,200 | 180,366,848 | △ 2,535,648 | |
| 事業活動収支差額 | 7,468,800 | 34,796,733 | △ 27,327,933 | |
| II 投資活動収支の部 | | | | |
| 1. 投資活動収入 | | | | |
| (1) 特定資産取崩収入 | | | | |
| 特別災害時支援引当金取崩収入 | 0 | 4,000,000 | △ 4,000,000 | |
| 特定資産取崩収入計 | 0 | 4,000,000 | △ 4,000,000 | |
| 投資活動収入計 | 0 | 4,000,000 | △ 4,000,000 | |
| 2. 投資活動支出 | | | | |
| (1) 特定資産取得支出 | | | | |
| 選挙関係引当金繰入支出 | 3,500,000 | 3,500,000 | 0 | |
| 特別災害時支援引当金繰入支出 | 0 | 13,000,000 | △ 13,000,000 | |
| 特定資産取得支出計 | 3,500,000 | 16,500,000 | △ 13,000,000 | |
| (2) 固定資産取得支出 | | | | |
| 建物付属設備購入支出 | 1,000,000 | 0 | 1,000,000 | |
| 器具備品購入支出 | 5,000,000 | 2,892,996 | 2,107,004 | |
| 固定資産取得支出計 | 6,000,000 | 2,892,996 | 3,107,004 | |
| (3) 敷金・保証金支出 | | | | |
| 敷金支出 | 0 | 2,598,400 | △ 2,598,400 | |
| 敷金・保証金支出計 | 0 | 2,598,400 | △ 2,598,400 | |
| 投資活動支出計 | 9,500,000 | 21,991,396 | △ 12,491,396 | |
| 投資活動収支差額 | △ 9,500,000 | △ 17,991,396 | 8,491,396 | |
| III 財務活動収支の部 | | | | |
| 1. 財務活動収入 | | | | |
| 財務活動収入計 | 0 | 0 | 0 | |
| 2. 財務活動支出 | | | | |
| 財務活動支出計 | 0 | 0 | 0 | |
| 財務活動収支差額 | 0 | 0 | 0 | |
| IV 予備費支出 | 0 | — | 0 | |
| 当期収支差額 | △ 2,031,200 | 16,805,337 | △ 18,836,537 | |
| 前期繰越収支差額 | 97,047,657 | 96,175,334 | 872,323 | |
| 次期繰越収支差額 | 95,016,457 | 112,980,671 | △ 17,964,214 | |

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、仮払金、未払金、前受会費、預り金を含めている。
なお、前期末および当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰り越し収支差額に含まれる資産および負債の内訳

(単位:円)

| 科 目 | 前期末残高 | 当期末残高 |
|----------|------------|-------------|
| 現金預金 | 96,671,860 | 113,737,051 |
| 合 計 | 96,671,860 | 113,737,051 |
| 仮受金 | 0 | 0 |
| 預り金 | 496,526 | 756,380 |
| 合 計 | 496,526 | 756,380 |
| 次期繰越収支差額 | 96,175,334 | 112,980,671 |

監 査 報 告 書

一般社団法人 日本臨床心理士会

会 長 村瀬 嘉代子 様

一般社団法人 日本臨床心理士会定款第25条第1項(5)及び第40条第1項に基づき、平成28年度の事業報告及び決算について貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、収支計算書及び帳簿等の関係書類を監査した結果、適正かつ正確であることを認めます。

平成29年4月23日

一般社団法人日本臨床心理士会

監事 藤原 俊通 

監事 宮崎 昭 

一般社団法人日本臨床心理士会 第3期前期 役員名簿

(役職別、五十音順)

| | | |
|-------|--------|---------------------------------|
| 会 長 | 村瀬 嘉代子 | 北翔大学大学院 |
| 副 会 長 | 川畑 直人 | 京都文教大学 |
| 副 会 長 | 津川 律子 | 日本大学文理学部心理学科 |
| 専務理事 | 奥村 茉莉子 | 専従 |
| 常務理事 | 野島 一彦 | 跡見学園女子大学 |
| 常務理事 | 花村 温子 | 独立行政法人地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター |
| 常務理事 | 平野 学 | 慶應義塾大学 |
| 理 事 | 伊藤 良子 | 学習院大学 |
| 理 事 | 乾 吉佑 | 多摩心理臨床研究室 |
| 理 事 | 岩倉 拓 | あざみ野心理オフィス |
| 理 事 | 宇田川 一夫 | 東北福祉大学 |
| 理 事 | 岡田 康伸 | 京都大学 (名誉教授) |
| 理 事 | 片岡 玲子 | 立正大学 心理臨床センター |
| 理 事 | 菊池 義人 | 鳥取大学大学院医学系研究科心理学専攻 |
| 理 事 | 倉光 修 | 放送大学 |
| 理 事 | 高田 晃 | 宇部フロンティア大学 |
| 理 事 | 高橋 幸市 | 佐賀県立虹の松原学園 |
| 理 事 | 鶴 光代 | 東京福祉大学 心理学部 |
| 理 事 | 徳丸 享 | 板橋区保健所予防対策課 |
| 理 事 | 信田 さよ子 | 原宿カウンセリングセンター |
| 理 事 | 人見 健太郎 | みとカウンセリングルームどんぐり |
| 監 事 | 藤原 俊通 | 陸上自衛隊衛生学校 |
| 監 事 | 宮崎 昭 | 山形大学地域教育文化学部 |

(平成29年3月31日現在)

一般社団法人日本臨床心理士会 第3期 代議員名簿

| | | | |
|----|-----|--------|------|
| 00 | 全国区 | 石田 陽彦 | |
| 00 | 全国区 | 今井 たよか | |
| 00 | 全国区 | 江口 昌克 | |
| 00 | 全国区 | 葛西 真記子 | |
| 00 | 全国区 | 窪田 由紀 | |
| 00 | 全国区 | 滝口 俊子 | |
| 00 | 全国区 | 橋 玲子 | |
| 00 | 全国区 | 田中 康雄 | |
| 00 | 全国区 | 富永 良喜 | |
| 00 | 全国区 | 平井 正三 | |
| 00 | 全国区 | 武藤 誠 | |
| 00 | 全国区 | 村山 正治 | |
| 1 | 北海道 | 三上 謙一 | |
| 2 | 青 森 | 関谷 道夫 | |
| 3 | 岩 手 | 織田 信男 | |
| 4 | 宮 城 | 宇田川 一夫 | (理事) |
| 5 | 秋 田 | 佐々木 亮次 | |
| 6 | 山 形 | 大御 均 | |
| 7 | 福 島 | 渡部 純夫 | |
| 8 | 茨 城 | 杉江 征 | |
| 9 | 栃 木 | 長久保 勇輔 | |
| 10 | 群 馬 | 猶原 宗雄 | |
| 11 | 埼 玉 | 枝久保 達夫 | |
| 11 | 埼 玉 | 花村 温子 | (理事) |
| 12 | 千 葉 | 齋藤 由美 | |
| 12 | 千 葉 | 飛田野 剛 | |
| 13 | 東 京 | 石川 悦子 | |
| 13 | 東 京 | 柴田 恵津子 | |
| 13 | 東 京 | 徳丸 享 | (理事) |
| 13 | 東 京 | 中村 留貴子 | |
| 13 | 東 京 | 馬場 禮子 | |
| 13 | 東 京 | 福田 由利 | |
| 14 | 神奈川 | 岩倉 拓 | (理事) |
| 14 | 神奈川 | 加藤 志ほ子 | |
| 14 | 神奈川 | 高木 秀明 | |
| 15 | 山 梨 | 吉川 眞理 | |
| 16 | 長 野 | 稲木 康一郎 | |
| 17 | 新 潟 | 小林 勇 | |
| 18 | 富 山 | 中塩 真巳 | |
| 19 | 石 川 | 武山 雅志 | |
| 20 | 福 井 | 岡本 克己 | |
| 21 | 岐 阜 | 宮地 幸雄 | |
| 22 | 静 岡 | 香野 毅 | |
| 23 | 愛 知 | 石川 健司 | |
| 23 | 愛 知 | 田畑 洋子 | |
| 24 | 三 重 | 森川 泉 | |
| 25 | 滋 賀 | 千原 美重子 | |
| 26 | 京 都 | 香川 克 | |
| 26 | 京 都 | 小林 哲郎 | |
| 27 | 大 阪 | 加藤 敬 | |
| 27 | 大 阪 | 吉田 俊治 | |
| 28 | 兵 庫 | 馬殿 禮子 | |
| 28 | 兵 庫 | 樋口 純一郎 | |
| 29 | 奈 良 | 川上 範夫 | |
| 30 | 和歌山 | 桑原 義登 | |
| 31 | 鳥 取 | 菊池 義人 | (理事) |
| 32 | 島 根 | 足立 智昭 | |
| 33 | 岡 山 | 進賀 友一 | |
| 34 | 広 島 | 塩山 二郎 | |
| 35 | 山 口 | 高田 晃 | (理事) |
| 36 | 徳 島 | 中津 郁子 | |
| 37 | 香 川 | 黒河内 美鈴 | |
| 38 | 愛 媛 | 渡邊 俊 | |
| 39 | 高 知 | 池 雅之 | |
| 40 | 福 岡 | 浦田 英範 | |
| 40 | 福 岡 | 嘉嶋 領子 | |
| 41 | 佐 賀 | 高橋 幸市 | (理事) |
| 42 | 長 崎 | 吉田 直樹 | |
| 43 | 熊 本 | 浦野 エイミ | |
| 44 | 大 分 | 西村 薫 | |
| 45 | 宮 崎 | 佐藤 容子 | |
| 46 | 鹿児島 | 山喜 高秀 | |
| 47 | 沖 縄 | 野村 学 | |

(平成29年3月31日現在)